

高陽東高等学校の特色ある授業の紹介（2学期・11月分）

「世界事情」（地歴・公民科）

17回：令和元年11月11日（月）3～4限

「カンボジア支援の実際」

講師：広島経済大学 柏谷 紘計 先生

カンボジアで活動されている大学生の児童教育支援について紹介していただきました。教科書作りから保健衛生指導まで多様な支援活動があることを学びました。また、児童だけでなく、教師を目指すカンボジアの学生に対する教育支援にも取り組まれ、現在では、日本とカンボジアだけでなくポーランドの学生も巻き込んだ活動になりつつあることを知り、活動の無限さに驚きました。不幸な過去を共有する国々同士による協力の輪が広がっていけばいいと感じました。



18回：令和元年11月18日（月）3～4限

「ロシアの文化と風土」

講師：日本ユーラシア協会広島支部

支部長 黒川 富秋 先生

「ロシア」という国名は聞いたことがありましたが、これまで特に気に留めることもありませんでした。前身が「ソビエト連邦」であったということを知り、驚きました。また、日本にとって最も地理的に近い国であるということにもびっくりしました。ただ、日本との間には領土問題をはじめ、いくつかの課題を抱えた国であることを聞き、もっとお互いの国同士が分かり合う努力をする必要があると思いました。現状では、とても遠い国という印象しか持っていないように感じます。



広大なロシアを白地図で確認します。

19回：令和元年11月25日（月）3～4限

「メキシコ合衆国の文化」

講師：マツダ株式会社 久保田美和先生

広島でオリンピックメキシコ選手団の事前合宿が行われていることもあって、メキシコ料理をはじめ、メキシコ文化に対する関心が高まっている今の時期こそ、両国の関係を深化させるチャンスだと思いました。「タコス」や「トルティーヤ」などの料理は聞いたことがありますが、お互いの国の心情的距離は決して近いとは言えないと思います。カノさんやナチョさんはとても朗らかで、夢に向かって家族と離れ、遠い国での技能訓練に取り組まれている姿にとっても感銘を受けました。



「トルティーヤ」